

令和7年第3回宝塚市議会（定例会）一般質問一覧表

令和7年9月26日（金）～ 10月1日（水）

（場所：宝塚市議事堂）

発言順位	発言者	質問方式	発言時間	予 定 日 時	
1	森 賀 宣 代	一問一答式	60分	9/26 (金) 6人	9:40～10:40
2	持 田 ち え	一問一答式	60分		10:40～11:40
3	末 永 やよい	一問一答式	60分		12:45～13:45
4	北 野 聡 子	一問一答式	60分		13:45～14:45
5	泉 友 紀	一問一答式	50分		15:00～15:50
6	中山 ゆうすけ	一問一答式	60分		15:50～16:50
7	お だ たか子	一問一答式	60分	9/29 (月) 6人	9:30～10:30
8	伊 庭 聡	一問一答式	60分		10:30～11:30
9	藤 岡 和 枝	一問一答式	60分		12:45～13:45
10	寺 本 早 苗	一問一答式	60分		13:45～14:45
11	桑 原 健三郎	一問一答式	60分		15:00～16:00
12	村 松 あんな	一問一答式	60分		16:00～17:00
13	坂 本 篤 史	一問一答式	50分	9/30 (火) 6人	9:30～10:20
14	梶 川 みさお	一問一答式	60分		10:20～11:20
15	浅 谷 亜 紀	一問一答式	45分		12:45～13:30
16	三 宅 浩 二	一問一答式	60分		13:30～14:30
17	大 島 千都世	一問一答式	50分		14:45～15:35
18	みとみ 智恵子	一問一答式	60分		15:35～16:35
19	中 野 正	一問一答式	60分	10/1 (水) 5人	9:30～10:30
20	川 口 じゅん	一問一答式	60分		10:30～11:30
21	田 中 こ う	一問一答式	60分		12:45～13:45
22	大 島 淡紅子	一問一答式	60分		13:45～14:45
23	北 山 照 昭	一問一答式	70分		15:00～16:10

※各質問の予定日時につきましては、議事の進行状況により前後することがあります。

(注) 表中、議員名下の () は質問形式

順位	議員名	件名
1	森賀 宣代 (一問一答式)	<p>1 自転車の安全対策及びインフラ整備について</p> <p>(1) 自転車事故を防ぐための啓発・教育活動について</p> <p>ア 小学校、中学校及びそれ以降の市民に対する交通安全教育の実施状況は</p> <p>イ 地域自治会等と連携した広報・啓発活動の実施状況は</p> <p>(2) 今後の交通安全に対する取組の予定について</p> <p>ア 定期的に交通安全に対する学習機会を設ける予定はあるか</p> <p>イ ヘルメット着用を推進するための計画はあるか</p> <p>(3) 自転車レーンの整備状況と整備予定及び道路環境保全について</p> <p>ア 宝塚市における自転車レーンの現状と整備予定は</p> <p>イ 道路標示の劣化状況をどのように把握しているか</p> <p>ウ 道路環境保全のために道路の点検は行っているか</p> <p>2 広聴A Iを活用したソーシャルマーケティングの推進について</p> <p>(1) 現状認識について</p> <p>ア 市民の声(ニーズ)をどのように集約しているか</p> <p>イ 得た市民の声を基に市が認識している課題はあるか</p> <p>(2) 広聴A Iの導入について</p> <p>ア 現在、宝塚市役所内で活用しているA Iツールはあるか</p> <p>イ 広聴A Iを活用し、SNSやアンケートなどから市民の意見を収集する取組を行う予定はあるか</p> <p>(3) ソーシャルマーケティングの導入について</p> <p>ア 宝塚市の問題を市民と共有し行動変容を促すための新たな施策策定にソーシャルマーケティングを導入する方針はあるか</p> <p>イ 広聴A Iを活用したソーシャルマーケティング実施の予定はあるか</p>
2	持田 ちえ (一問一答式)	<p>1 公共の福祉とソーシャルグッド</p> <p>(1) 宝塚市行財政経営方針に基づくこれからのまちづくり</p> <p>ア 宝塚市における公共の福祉の考え方</p> <p>イ 現状の課題と認識</p> <p>ウ 第6次宝塚市総合計画とビジョンの共有</p> <p>エ ソーシャルグッドの視点</p> <p>オ 横断的な組織運営</p> <p>2 学校の現状について</p> <p>(1) 市は宝塚市の教育の現状をどのように捉えているか</p> <p>ア 教育大綱の認識</p> <p>イ 教育大綱について、現行の一体型ではなく独立型の必要性をどのように考えているか</p> <p>ウ 教育振興基本計画について</p>

		<p>(2) 学校現場について</p> <p>ア 電話対応について</p> <p>イ 給食について</p> <p>ウ 授業時数について</p>
3	末永 やよい (一問一答式)	<p>1 持続可能な学校給食の在り方について</p> <p>(1) 本市の自校炊飯方式による給食事業費の現状分析について</p> <p>(2) 物価や人件費上昇による負担見込みと対応について</p> <p>(3) 児童生徒数の減少に伴う小規模校の給食調理場統合など調理体制の効率化の可能性について</p> <p>(4) 国の交付金などの終了に伴う給食費負担の見直しについて</p> <p>2 宝塚市一般廃棄物処理について</p> <p>(1) 宝塚市の家庭ごみ排出量とリサイクル率の直近の実績と兵庫県での位置づけは</p> <p>(2) 焼却量と最終処分量の現状と資源化の推進について</p> <p>(3) 処理コストや施設建て替え費用の見通しは</p> <p>(4) ごみ処理体制や財政負担の在り方とごみ袋有料化の可能性について</p>
4	北野 聡子 (一問一答式)	<p>1 宝塚の文化財、史跡の保全と歴史のまち歩きについて</p> <p>(1) 文化財、史跡などの保全や環境整備は</p> <p>(2) 「宝塚市文化財おさんぽマップ」などの更新や維持管理は</p> <p>(3) 昔ながらの「道しるべ(道標)」の維持管理は</p> <p>(4) 「まちかどサイン」の設置目的と活用の実態は</p> <p>2 宝塚市立病院の緩和ケア医療について</p> <p>(1) 市立病院の緩和ケア医療、緩和ケア病棟が充実しているが、現状と課題は</p> <p>(2) ニーズが高まる「療養型病院」の本市の状況や、市立病院とのつながりは</p> <p>(3) 本市の新病院構想における緩和ケア医療と終末期医療の位置づけは</p> <p>3 人権施策の推進と人権課題の解決について</p> <p>(1) 「ありのままに自分らしく生きられるまち宝塚」第2版リーフレットが作成された。その内容の啓発と、取組は進んでいるのか</p> <p>(2) SNSにおけるあらゆる人権侵害の根絶に向けての見解は</p> <p>(3) 宝塚市人権・同和教育協議会(宝同協)の研修や人権啓発の取組は</p> <p>(4) 「人権課題解決と差別解消を掲げた条例」の検討を</p> <p>(5) 2024年3月に作成された『『ありのままに自分らしく』互いに認め合える学校園所をめざして ～性の多様性について考える～』授業書活用状況は</p> <p>(6) 地域の実態に基づいた部落差別解消のための分かりやすい授業書づくり</p>

		を (7) 多文化共生社会の実現のために、インクルーシブ教育の推進を
5	泉 友紀 (一問一答式)	<p>1 国の方針を踏まえた新たな学級運営体制の検討について</p> <p>(1) 教職員配置の実態と課題</p> <p>ア 本市における教職員の未配置の状況と、それに伴う代替措置（産休・病休等の代替対応を含む）について</p> <p>イ 教員の勤務時間に関する制度（育児短時間勤務・部分休業・介護短時間勤務など）の利用状況について</p> <p>ウ 勤務時間に関する制度の利用や配置の状況が、学校運営にどのような課題を生じさせているのか。また、持続可能な学校運営を実現するためにどのような課題認識を持っているのか</p> <p>(2) 学級がうまく機能しない状況について</p> <p>ア 本市として「学級が機能しない」とはどのような状態を指すのか</p> <p>イ 過去3～5年間で相談・報告のあった授業運営が困難な学級の件数や小・中学校での傾向について</p> <p>ウ うまく機能しない学級になった要因と支援体制について</p> <p>(3) 学年担任制・教科担任制の導入について</p> <p>ア 文部科学省が進める小学校高学年での教科担任制についての本市の受け止め</p> <p>イ 課題解決策として、学年担任制・教科担任制を導入する考えがあるか</p>
6	中山ゆうすけ (一問一答式)	<p>1 発達障がい支援について</p> <p>(1) 教職員への理解促進について</p> <p>(2) 個別サポート加算（Ⅲ）の活用状況は</p> <p>(3) 大人の発達障がいへの支援体制は</p> <p>2 本市における校則の在り方について</p> <p>(1) 本市における校則の公開状況は</p> <p>(2) 生徒が自分たちの学校生活を主体的に考える取組について</p> <p>(3) 見えない校則について</p> <p>3 個別最適化された学びの在り方について</p> <p>(1) 本市は個別最適化された学びをどのようにして実現していくのか</p>
7	おだ たか子 (一問一答式)	<p>1 公共交通 昨年度実施した実証実験のその後について</p> <p>(1) 山本・安倉地区からの市立病院等への移動手段導入のための実証実験の結果は</p> <p>(2) 売布地区の実証実験の結果と今後の地域への報告は</p> <p>2 市立病院 建て替え案の進捗と市民の願い</p> <p>(1) 病院建設に関わる基金の内容と建て替え計画の全体スケジュール</p>

		<p>(2) 「たからづかモデル」の検討状況は</p> <p>(3) 市長と市民の対話の中でも既存棟のリニューアル活用が質問で提案されたが計画できるか</p>
8	伊庭 聡 (一問一答式)	<p>1 ロジックモデル導入について</p> <p>(1) 事業の成果定義について</p> <p>ア 各事業の成果をどのように定義しているのか</p> <p>イ アウトカムやインパクトを測定する仕組みはあるのか</p> <p>(2) ロジックモデルの活用について</p> <p>ア ロジックモデルを活用した評価設計は導入しているのか</p> <p>イ 事業の社会的効果を市民にどう説明しているのか</p> <p>ウ 各施策におけるエビデンスの収集、活用はどう行っているのか</p> <p>2 選べる学校給食と食育について</p> <p>(1) 学校給食の周知について</p> <p>ア 牛乳やパンの選択制について、保護者への通知はどのように行われているのか</p> <p>イ 通知の内容はどのようなものか</p> <p>(2) 米飯給食について</p> <p>ア 市として米飯給食をどのように考えているのか</p> <p>イ 学校給食運営協議会との議論内容は</p> <p>(3) 食育基本法との整合性について</p> <p>ア コロナ禍で導入された黙食やグループにしない食事が、今も継続されている学校があるが、市としてその認識は</p> <p>イ 食育基本法が定める共食（ともに食べること）の観点から、現状をどう捉えているのか</p> <p>3 新型コロナワクチンに係る健康被害救済制度をつながる支援にするためには</p> <p>(1) 救済制度と他制度との連携について</p> <p>ア 現在の救済制度で認定を受けた人が、障害者手帳や障害年金などの他の福祉制度につながる仕組みはあるのか</p> <p>イ 市としてどのような支援や情報提供を行っていく考えか</p> <p>(2) 医療現場への周知について</p> <p>ア ワクチン副反応で苦しむ方が医師から心ない言葉をかけられる事例があるが、医師会や病院への周知、啓発はどのように行われているのか</p> <p>イ 市として、医療従事者への理解促進に取り組む考えはあるか</p> <p>(3) 手帳制度そのものの理解促進について</p> <p>ア 健康被害救済制度による手帳が、障害者手帳や福祉手帳と異なることへの理解が進まず、様々な現場で混乱や弊害が起きている。この点を市はどのように把握しているのか</p>

<p>9</p> <p>藤岡 和枝 (一問一答式)</p>		<p>1 未来を担う若者を切れ目なく応援する体制づくりを</p> <p>(1) ユニセフが提唱する「子どもにやさしいまちづくり事業 (C F C I)」の実践についての検討状況は</p> <p>(2) 奨学金返還支援制度の創設を</p> <p>(3) 「プレコンセプションケア (若い世代の男女の健康を目指す取組)」の効果的な啓発の在り方と相談体制の強化について</p> <p>(4) 子ども・若者総合相談機能の充実・強化について</p> <p>ア 不登校、いじめ、ひきこもり、ケアリーバー (児童養護施設などでの社会的養護から巣立つ若者) など困難を有する子ども・若者の孤立防止や相談、支援などの取組状況と課題は</p> <p>(5) 若者を応援、育成する部署の機能強化、創設を</p> <p>2 宝塚市の教育の今後の方向性について</p> <p>(1) 第2次宝塚市教育振興基本計画 (後期計画) 策定に係る進捗状況について</p> <p>(2) 平和学習の在り方について</p>
<p>10</p> <p>寺本 早苗 (一問一答式)</p>		<p>1 香害に向き合うまちづくり、次の一歩へ</p> <p>(1) 「学ぶ権利」を保障するために (学校園の取組)</p> <p>ア 子どもの「香害」および環境過敏症状に関する全国調査結果の受け止めと本市の取組の検証</p> <p>イ 「シックスクール問題対策マニュアル」に「香害」の記載を</p> <p>ウ 教室をフレグランスフリーに (教職員、保護者への周知徹底と協力体制づくり)</p> <p>(2) 「知る権利」を保障するために (図書館の取組)</p> <p>ア 市立図書館における空間の香料配慮</p> <p>イ 「移香」による図書利用困難への対応</p> <p>ウ 図書館ならではの啓発</p> <p>(3) 「参政権」を保障するために (投票所の取組)</p> <p>ア フレグランスフリー投票所の設置</p> <p>(4) 「人権」を保障するために (全庁的な取組)</p> <p>ア 市長の認識</p> <p>イ 市民と職員への広報、啓発の強化を</p> <p>2 期日前投票所をめぐる課題</p> <p>(1) 期日前投票所の利用状況、混雑状況、運営経費、投票率の推移は</p> <p>(2) 目的とする「利便性向上」と「投票率改善」は達成できているか</p> <p>(3) 利用実績に応じた期日前投票所の統廃合など見直しの検討は</p> <p>3 子どもを性犯罪から守るために</p> <p>(1) 市内の学校園や児童福祉施設等における過去10年間の性犯罪、性加害の発生状況</p>

		<p>(2) 市内の学校園や児童福祉施設等における盗撮事案への対策</p> <p>(3) 2026年12月施行予定の日本版DBS制度への対応について</p>
11	桑原 健三郎 (一問一答式)	<p>1 行財政改革の進め方とその方向性について</p> <p>(1) 行財政改革の基本姿勢について</p> <p>ア 「改革」の目的と「最終的に目指す姿」を市民にどのように示しているのか</p> <p>イ 削減のみを目的とするのではなく、「未来の宝塚市の姿」を描いた上で改革を進める必要があると考えるが、市長の見解は</p> <p>(2) 「広報板管理業務」に関する見直し手法の妥当性について</p> <p>ア 見直しに当たり市が自治会やまちづくり協議会等に示した条件は、当該団体等が引き受けられる現実的な内容であったのか</p> <p>イ 今回の手法では、実質的に「住民団体に廃止の判断を言わせている」に等しいと考えるが、市の見解は</p> <p>ウ 広報板が担っている役割を認識し、存続のための工夫は行われたのか</p> <p>(3) 行財政改革対象事業の検討プロセスについて</p> <p>ア 本市はまず13項目の事業を行財政改革対象としたが、それぞれの取組効果額や総枠での削減目標額を市民に示さないまま意見聴取や対話を進めている。この手法で市民の納得感を得られると考えるか</p> <p>イ 「なぜこの事業なのか」「どの程度の改善効果を見込むのか」の説明がなければ、市民は改革の必要性を理解できないと考えるが、市の見解は</p> <p>(4) 行財政改革のゴール設定について</p> <p>ア 市長は、行財政改革の先にある宝塚市の将来像をどのように描き、それを市民にどのように伝えるのか</p> <p>2 地域児童育成会における児童の安全管理について</p> <p>(1) 過去の重大事故について</p> <p>(2) 安全管理体制について</p> <p>ア 危機管理対応マニュアル等について</p> <p>イ 職員研修について</p> <p>(3) 有事の際の責任の所在について</p> <p>ア 現場の責任者</p> <p>イ 市の責任者</p> <p>3 道標を歴史資産、観光資源、市民の誇りとして活かすには</p> <p>(1) 道標の現状と市の認識について</p> <p>(2) 歴史的・文化的価値の保存について</p> <p>(3) 観光資源としての可能性について</p> <p>(4) 市民にとってのシビックプライドの醸成について</p> <p>(5) 維持保存管理の制度的課題について</p> <p>(6) 今後の方向性について</p>

		<p>ア 歴史資産、観光資産、市民資産として存続させるために、市はどのような基本姿勢を持つか</p> <p>イ 庁内の部局横断的な議論の場は持たれるか</p>
1 2	村松 あんな (一問一答式)	<p>1 財政見通しのシミュレーションについて</p> <p>(1) 歳入・歳出の数値における積算根拠</p> <p>ア 市税収入が横ばいや微増傾向となっている理由は</p> <p>イ 金利上昇についてはどの程度リスクヘッジできているか</p> <p>(2) 特別会計への繰出金</p> <p>ア 国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療制度について、計画初年度（令和7年度）及び最終年度（令和16年度）においてそれぞれいくら積算されているか</p> <p>イ 低所得者への保険料軽減などのための任意繰出金は計画初年度及び最終年度においてそれぞれいくら積算されているか</p> <p>(3) 南海トラフ地震発生時の市財政への影響</p> <p>ア 市税収入への影響をどの程度見積もっているか</p> <p>イ 阪神・淡路大震災当時にインフラ復興にかかった費用に対して、どの程度費用が膨らむと試算しているか</p> <p>2 放課後児童クラブについて</p> <p>(1) 県内で待機児童がワーストという状況の受け止めは</p> <p>ア NHK報道における宝塚市担当者のコメントと市長答弁のニュアンスが大きく異なっている件について</p> <p>イ 様々な手法の検討状況は</p> <p>(2) 夏期臨時地域児童育成会の実施を受けての反省点</p> <p>ア 必要としている人に対してどのように情報提供を行っているか</p> <p>イ 申込方法などについて働く保護者にとって配慮されているものになっているか</p>
1 3	坂本 篤史 (一問一答式)	<p>1 熱中症対策について</p> <p>(1) 市内における熱中症での救急搬送件数は</p> <p>(2) 市職員への熱中症対策について</p> <p>ア 屋内業務に携わる職員への熱中症対策は</p> <p>イ 屋外業務に携わる職員への熱中症対策は</p> <p>(3) 小学校、中学校における熱中症対策について</p> <p>ア 体育館のエアコン設置工事の進捗状況は</p> <p>イ 教職員への熱中症対策は</p> <p>ウ 児童生徒への熱中症対策は</p> <p>2 障害者手帳の利便性向上について</p> <p>(1) デジタル障害者手帳アプリの活用について</p> <p>ア 障害者手帳の交付数は</p>

		<p>イ デジタル障害者手帳アプリを市内で利用可能な公共施設はあるのか</p> <p>ウ デジタル障害者手帳アプリについての周知はされているのか</p>
1 4	梶川 みさお (一問一答式)	<p>1 定員適正化計画の問題点と職員配置の適正化について</p> <p>(1) 2021年12月に策定された定員適正化計画と前計画との整合性について</p> <p>ア 整合性は図られていると思うか</p> <p>イ 定員適正化計画を見直すべきではないか</p> <p>(2) 職員配置の適正化について</p> <p>ア 現在の職員配置は適正だと思っているのか</p> <p>イ 欠員が生じている職場については、どのように対応するのか</p> <p>ウ 人員要求に対しては、職場の係長等ともヒアリングをして増員の可否を決めるべきではないか</p> <p>2 令和6年度事務事業見直しの進め方の問題点と再見直しについて</p> <p>(1) 令和8年度以降から対応予定分の事業名を公表したことについて</p> <p>ア 市ホームページなどで公表したことは正しかったのか</p> <p>イ 対応予定分の対象事業の当事者への丁寧な説明が必要ではないか</p> <p>(2) 令和6年度事務事業見直しの再見直しについて</p> <p>ア 財政見直しを見直した以上、令和6年度事務事業見直しも再見直しをするべきではないか</p> <p>イ 市民や職員との対話を重視して、事務事業見直し作業を進めるべきではないか</p>
1 5	浅谷 亜紀 (一問一答式)	<p>1 シニアライフが充実するまでに</p> <p>(1) 介護予防の重要性の認識と高齢者の生活の質を上げるための市の取組は</p> <p>(2) ケアマネジャー不足にどう向き合うか</p> <p>(3) 運転免許を返納した方の通院や買い物等移動・外出のための支援の必要性と社会参加の促進について、今後の方策及び福祉と交通の連携体制は</p> <p>(4) 公園の健康遊具設置状況と利用促進策は</p> <p>(5) 終活サポートの必要性とエンディングノートの周知及び活用について</p>
1 6	三宅 浩二 (一問一答式)	<p>1 災害時の事業者との連携について</p> <p>(1) 総合防災課が進める事業者との連携について</p> <p>ア 事業者連携の現状</p> <p>イ 今後の取組</p> <p>(2) 上下水道局における事業者との連携について</p> <p>ア 事業者連携の現状</p> <p>イ 今後の取組</p> <p>2 花屋敷グラウンド周辺整備について</p> <p>(1) 花屋敷グラウンド周辺整備基本構想(案)について</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ア 現状 イ 地域への説明会開催状況 ウ 今後の取組
17	大島 千都世 (一問一答式)	<p>1 市営住宅の現状とトラブル対策について</p> <p>(1) 市営住宅の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 空き住戸の状況 イ 家賃滞納の状況 ウ 高齢化・孤独死・生活トラブルの状況 <p>(2) 市営住宅におけるトラブルの改善策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 入居者同士のトラブルへの対応 イ 高齢者の孤立防止の取組 ウ 空き住戸の活用 <p>2 地域猫活動について</p> <p>(1) 地域猫活動の現状と課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 市が把握しているTNR（不妊・去勢手術）実施件数、助成実績及び直近3年間の予算執行状況（オス・メス別等）の把握状況 イ 給餌・トイレ設置等に伴う衛生問題や近隣住民からの苦情件数・対応状況（通報窓口、苦情対応フロー） ウ 地域団体（NPO）・獣医師会との連携体制とその課題（捕獲器貸出し、講習会） <p>(2) 施策の強化・今後の方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 捕獲して手術し、地域に戻すまでを一括で支援する「ワンストップ支援パッケージ」導入の検討状況 イ TNR実施後の効果測定（苦情件数の変化、猫の個体数推移等）の定期的な収集・公表と市民への周知策 <p>3 2026年度日本女子オープンゴルフ選手権開催について</p> <p>(1) 2026年度日本女子オープンゴルフ選手権の宝塚市での開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 大会の開催概要について市が把握している情報 イ 市としてどのように関わる予定か（支援・協力体制） ウ 大会を通じて市民への周知や盛り上げをどのように考えているか
18	みとみ智恵子 (一問一答式)	<p>1 誰もが生き生きと暮らせるまち、宝塚</p> <p>(1) 多文化共生のまちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 現状と課題 イ 行政サービスの対応状況 ウ 教育・子どもの支援 エ 市民協働と地域交流 オ 今後の方向性 <p>(2) 高齢者バス・タクシー運賃助成について</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ア 現行制度の概要と利用状況 イ 利用者ニーズの把握 ウ 交通弱者支援としての位置づけ <p>(3) 水害・豪雨災害について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 宝塚市の被害想定と現状のリスク イ ハード対策 ウ ソフト対策 エ 高齢者・障がい者・外国人を含めた要配慮者への支援体制 オ 気候変動への対応
19	中野 正 (一問一答式)	<p>1 宝塚市の行財政改革の課題について（省インフラへの転換）</p> <p>(1) 宝塚市公共施設（建物施設）保有量最適化方針におけるコミュニティ施設について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 地域利用施設の更新計画はあるのか イ 共同利用施設を取組対象施設としているが進捗は <p>(2) 学校施設の統廃合についての進捗は</p> <p>2 メタバースが開く行政サービス</p> <p>(1) インターネット上の仮想空間「メタバース」を行政サービスに活用する事例が増えているが本市の対応は</p> <ul style="list-style-type: none"> ア メタバースを活用することについての研究は イ メタバースの活用について、今後活用が増えることも念頭においた人材育成は <p>3 企業との包括連携協定で安心安全なまちづくりを（バイクのドライブレコーダー活用を）</p> <p>(1) 現状での包括連携協定の概要と成果は</p> <p>(2) 他市の事例で、新聞配達や郵便局との連携協定でバイクのドライブレコーダーによる地域の防犯や見守りに役立っている事例もあるが、安心安全の視点での包括連携協定の検討は</p>
20	川口 じゅん (一問一答式)	<p>1 患者の負担を減らし、利用しやすい市立病院へ</p> <p>(1) 昨年度実施した宝塚市立病院等への移動についての実証実験の結果と課題分析は</p> <p>(2) 診察時や会計時の待ち時間について現状把握は</p> <p>2 共働き家庭の食事に関する負担軽減について</p> <p>(1) 長期休業期間中の育成会の昼食提供の進捗は</p> <p>3 子どもの健康を守るための通学時の対策について</p> <p>(1) 通学時の荷物がどのくらいの重さになるのか把握は</p> <p>(2) 通学時の荷物軽減について今までの取組は</p>

2 1	田中 こう (一問一答式)	<p>1 市民の「いのちとくらし」を守るために</p> <p>(1) 自殺防止に全力を</p> <p>ア 今年度の自殺予防週間（9月10日～16日）及び自殺対策強化月間（3月1日～31日）における取組状況について、どのような成果や課題があると評価しているのか</p> <p>イ 自殺予防週間における庁内放送や、夏休み明けに向けたメッセージは社会情勢の変化に応じて適宜アップデートされているのか</p> <p>ウ 不登校から見えるSOSにどう応えるか</p> <p>エ AIが及ぼす影響をどう認識しているか</p> <p>オ 10代におけるオーバードーズの実態把握や課題整理、再発防止や早期支援に向けた取組は</p> <p>カ 6月改正の自殺対策基本法で示された学校での「心の健康保持のための健康診断」の内容・頻度は</p> <p>キ 2026年度から設置可能となる学校・教育委員会・児童相談所・自殺対策に取り組む民間団体などで構成する地域協議会の具体的な運用はどのように検討されているのか</p> <p>ク 重症化する前に支えるメンタルヘルス相談体制の整備を</p> <p>(2) いのちとくらしを守る国民健康保険に</p> <p>ア 重い負担となっている国保税の引下げを必要な施策と認識しているのか</p> <p>イ 減免制度の拡充と継続を</p> <p>ウ 従来の保険証の廃止によって、資格証明書の扱いはどう変わったのか</p> <p>エ 資格証明書未発行の理由と、その理念的意義は</p> <p>オ 全ての加入者に資格確認書を交付することによるメリットや課題をどのように認識し、適切に交付を進める方針をどのように考えているのか</p>
2 2	大島 淡紅子 (一問一答式)	<p>1 戦後80年、私たちは何をすべきか</p> <p>(1) 市の平和施策は</p> <p>ア 現況</p> <p>イ 未来への取組</p> <p>(2) 学校園での平和教育は</p> <p>ア 現況</p> <p>イ 未来への取組</p> <p>(3) 子ども版「防衛白書」の取扱いについて</p> <p>ア 現状と今後</p> <p>2 子どもたちを地域でいかに見守っていくか</p> <p>(1) 部活動地域展開について</p> <p>ア 文化芸術系部活動に関して進捗状況は</p> <p>イ 吹奏楽部について検討状況は</p>

		<ul style="list-style-type: none"> (ア) 練習場所 (イ) 楽器の使用 (ウ) 市助成金、保険 <p>(2) 青少年育成市民会議について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 廃止に向けての経緯は イ スクラム会議等地域の子どもに関する情報交換の場は
23	北山 照昭 (一問一答式)	<p>1 土砂災害対策の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 土砂災害特別警戒区域、逆瀬台2丁目(1)、仁川高丸1丁目(10)、中山台1丁目(14)の防災対策工事の実施は (2) 土砂災害警戒区域で、現地調査の結果「早期措置段階」と判断された、中山五月台6丁目(2)の防災対策工事の実施は <p>2 公民連携による「中山台ニュータウン」再生事業(付加価値創出型)について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 付加価値創出型再生事業の具体的内容(事業スキーム)は (2) 宝塚市として担える部分(各種規制の調整・地域のネットワーク)とは (3) 中山台地域における、かねてからの課題(旧中山五月台小学校・幼稚園の有効活用・義務教育学校(小中一貫校))は <p>3 武田尾駅及び駅周辺の防犯対策と西谷地域路線バス廃止に伴う対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) エレベーター設置に伴う防犯対策は (2) JR武田尾駅前にある駐車場などの管理事務所はどうするのか (3) 阪急バスの西谷地域路線の廃止決定と時期について (4) 廃止に伴う「今後の対応について」